
【創業75周年特別記念モデル】

歴史と未来が透けて見える——スケルトンタイプのダイヤルゲージ、誕生
～「受け継がれる匠の技×DX革新」で測定の新時代へ～



< 創立75周年特別記念モデル（左）と、標準ダイヤルゲージ（右） >

測定機器及び関連ソリューションを提供するメーカー：株式会社テクロック（本社：長野県岡谷市、代表取締役社長：原田 健太郎、以下テクロック）は、2025年7月21日に創業75年を迎えます。75周年を記念して、この度ダイヤルゲージの特別記念モデル：1 μ mダイヤルゲージ<スケルトンモデル>を発表いたします。

テクロックは1950年の創業以来、精密測定機器メーカーとして国内外に製品を提供し続けています。精密測定機器は、自動車、半導体、工作機械、医療機器、プラスチック、食品などの精度確認に不可欠な機器であり、日本の基幹産業である「ものづくり」を支えています。

寸法精度を測定するダイヤルゲージを始めとして、厚み測定器、深さ測定器、硬さ測定器(硬度計)など数多くの測定機器を製造・販売しており、特に、硬さ測定器では世界マーケットシェアNo.1を誇ります。その測定技術は日本のものづくりの根幹を支えるだけでなく、世界70ヵ国以上のユーザーの方々に高く評価されており、グローバルな製造業界における品質と信頼性の向上に寄与し、業界全体の発展を牽引しています。

■ テクロックのダイヤルゲージ

テクロックは電気時計の製造から歩みをスタートし、その技術を応用して測定器の製造を手掛け始めました。創業初期から製造し続けるダイヤルゲージは、まさにテクロックを代表する測定器といえます。現在、1 μ m精度の規格に適合したダイヤルゲージを一から自社で製造できる測定器メーカーは世界でも数社に限られると言われています。

■ 特別記念モデルの特徴

本特別記念モデルは、1 μ m高精度仕様でありながら、内部の精密なメカニズムが見えるスケルトンデザインに仕上げました。文字盤には、創業当時の筆記体の旧ロゴと、新ロゴの両方をあしらい、テクロックが歩んできた歴史と今を一つに重ねています。過去から受け継がれる技術と、これからの未来への思いを込めた特別なモデルになっています。

旧ロゴ

Teclock

新ロゴ

TECLOCK®

■ ダイアルゲージの歩み

テクロックのダイアルゲージは70年以上にわたり、国内外問わず多くのお客様にご愛用いただいているロングセラー製品です。各年代のダイアルゲージの変遷を通じて、テクロックの歴史の一部をご紹介します。



1950～60年代



1970～80年代



1980～90年代



現在

■ 会社概要

社名：株式会社テクロック

本社所在地：長野県岡谷市成田町2-10-3

代表取締役社長：原田 健太郎

設立：昭和25年7月21日

HP：<https://teclock.co.jp/ja/>

※本特別記念モデルは一般発売の予定は現在のところございません。

※本プレスリリース記載情報は、発表日現在のものです。予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

<お問い合わせ先>

株式会社テクロック

広報・PR担当：原田かん菜

TEL：03-5765-5333 携帯：080-8475-0303

Email：ka_harada@teclock.co.jp